# 日本共産党・高橋久美子市議初の議会報告

日本共産党の高橋久美子市議が7月5日、横川目公民館で議会報告を行い、地元住民ら17名が参加しました。6月議会で高橋議員が、特に和賀町で要望の強い横川目診療所再開やバス交通の拡充を取り上げたことから、出身の竪川目と横川目の境にある同公民館で開催したもの。和賀町出身の日本共産党現職議員が地元で議会報告を行ったのははじめてです。同市議団代表の鈴木健二郎市議が同席しました。主催は同党和賀支部。コロナ感染に十分配慮して開催しました。

## 根強い診療所再開の願い

高橋議員は、「市内16地区のうち半数の8地域に医療施設がないが、人口1万2千人を超える和賀に医療施設がないのはコロナ禍を見ても考えられないことです」と切り出し、閉鎖されて3年以上になる現在、診療所設置に根強い要望があること。医療には対面診療が必要で、オンラインや巡回診療はあくまで補完的にすぎないこと、診療所再開は市の姿勢にかかっていることなどをのべ、「一方、市側からは『医師がいれば再開を考えてもよい』という前進的な答弁があった」と報告しました。

また、高齢者バス補助金については住民から、「3000円では和賀町から1回往復するとなくなってしまう。とても通院などには使えない」などの声を紹介。そして、「市の答弁でも「確かに安いと思う」などの認識の共有もはかられており、前向きな答弁があった」と報告。対象者拡大については「70歳以上すべての人が受けられるようにすべきです」とのべました。

初の議会報告会にのぞむ高橋久美子市議（手前）ら

参加者からは、「笠松小学校のトイレ改善について共産党にがんばってもらった。診療所問題でも他の和賀町出身の議員とも連携してほしい。道路問題などもかかえているので見てもらいたい」「かつてに比べ和賀町は寂れてしまった。活性化をはかってほしい」などの要望が寄せられました。また、「アパート建設にたいして市の補助が出ているようだがどのように考えるか」という質問が寄せられ、鈴木市議は、「市は3年間で3億円の補助を考えている。『就労支援』というが実態は事業者支援でしかもほとんど大手メーカーが取ることになり共産党は反対した。議員の賛否は同数だった。結局は和賀町など周辺には建設されず中心部に集中し、中心部地域ではコミュニティ醸成などで困惑している実態もある。若い人の定住化をはかるというなら子育て支援充実にもっと力を入れるべきだ」と述べました。

# 利根山光人一　鎮魂の思い

## ８月２７日まで企画展

いま、利根山光人美術館（立花）で「利根山光人一戦中派の証言ふたたび一」の企画展が行われています。

これは利根山光人が鎮魂の思いで手掛けた版画の「戦争シリーズ」です。写真は「ヒロシマ」のものの１枚。

利根山光人戦争シリーズの原点には「戦争体験」があり、「戦争への怒り」が色濃くあらわれています。

※先週号の「孫の宿題」の答えはスペースの関係で次号に掲載します。

# 北上の民族文化を見る②

前回は、鬼剣舞の由来や演目について紹介しましたが、今回は同ガイドブックに掲載されている順に、地域で伝承されている鬼剣舞を見てみます。

### ●滑田（なめしだ）鬼剣舞

明治の中期、滑田仲通り部落を中心に創立の機運が芽ばえ、岩崎鬼剣舞の指導を受け、明治34年に秘伝書を伝授されて誕生しました。その創立当初の研鑽と活躍は目覚ましく、明治42年飯豊、大正元年には谷地、大正3年には村崎野を指導し、それぞれ秘伝書を伝授している。その後、二子（昭和31年）などに伝授し、岩崎とともに和賀北上地方に鬼剣舞を広める大きな役割を果たした。また岩崎で伝承を中断した神楽系の踊りも継承しており注目である。

昭和56年3月岩手県指定無形民俗文化財、平成5年12月国無形民俗文化財に指定。

滑田鬼剣舞

### ●御免町（ごめんまち）鬼剣舞

明治25年頃より岩崎鬼剣舞の指導を受け、明治30年8月1日秘伝を相伝されて誕生した。その後、明治32年秘伝書も伝授される。

創立当初の活躍はさかんで、明治43年北鬼柳（オト島）。大正15年長沼などを指導しているが、以後消長を繰り返しながら昭和45年岩手国体を機に復活、翌年から本格的に再開された。小学生への伝承も取り組んだり、今後が期待される。

昭和48年江釣子村指定無形民俗文化財。

### ●谷地（やじ）鬼剣舞

明治の晩年、滑田鬼剣舞の指導を受け、大正元年旧7月15日秘伝書を伝承されて創立したが、昭和40年代に後継者難で一時中断。岩手国体を契機に復活の機運が芽生え、昭和52年踊り手、囃方などすべてを若者によって組織し再開した。

郷土芸能を通して若い世代の地域づくりがされており注目できる。

### ●相去鬼剣舞

明治23年頃より、岩崎鬼剣舞の指導を受け、現在の踊り組では最も古い、明治29年に秘伝書を伝授されている。その一方で、年代不詳の南都田鬼剣舞の秘伝書が伝わっており、同一組の組が両者より伝授されたものか、別な踊り組が一つになったものか定かでない。以後昭和10年頃まで継承されてきたが中断。昭和38年相去公民館が母体となり青年会に呼びかけ、地域民の援助によって復活した。昭和56年北上市の5団体が連合して「北上鬼剣舞」を組織し、同年北上市無形民俗文化財となる。

発行◆赤旗北上出張所　北上市大通り2丁目12－21　電話：63－4798　FAX：64－5860